

1 本園の教育目標

明るく逞しく、心豊かで調和のとれた、円満な人間性の基礎を育む

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・主体性を持って研修に参加し、得意なことや良さを生かし、協力し合う体制づくりを行う
- ・一人ひとりの育ちを全職員で共通理解をし、多角的に見守り、一人ひとりに応じた支援を行う

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
I 保育の計画性	A	幼児が園庭で遊ぶ姿をドキュメンテーションにして職員間で語り合い、育ちを多くの視点で共通理解しながら実態に応じて保育を計画し、環境構成している。
II 保育の在り方	A	園内研修でお互いを知り、理解し合う語り合いを続け、職員間で長所も短所も認め合って協力し合い、一人ひとりの幼児を多面的に捉え、見直しを持った保育に努めている。
III 教師としての資質・能力	B	職員会議で積極的に意見を述べ、自分自身に対する理解を深めるとともに、協働する力を高め、教育内容の向上と改善に主体的に取り組んだ。
IV 保護者対応	A	園生活や遊びの様子を伝えるため、ホームページやライブ配信などを活用したり、成長過程を積極的に伝えたり、園内での事故やけががあった場合は、状況を的確に報告することを心がけた。
V 研修と研究	B	研修報告で自分自身を振り返り、保育につながるよう職員間で共通理解をはかり、協力し合った。今日的課題に対して、積極的に園内研修を行い、保護者や地域の支援事業との連携をはかりながら保育につなげていった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	複数の教職員で日々の記録等を共有しながら多面的に幼児を捉え、互いに気付き合いながら、保育を見直し、指導の改善に生かした。柔軟な指導計画になっており、子どもの育ちや課題により、随時見直しや変更を行い、教育内容の充実に努めた。 また、特別支援について継続的に講師を招き、より細やかな内容の研修を行うことができ、保育に生かすことができた。

5 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取組方法
1	安全対策・危機管理	安全管理マニュアルや危機管理マニュアルの見直しや改善を行い、職員各々が自分の役割に責任を持ち、適切な対応がとれるよう、確認し合い、訓練を行う。
2	保護者対応・子育て支援	園の教育を理解してもらうための発信の工夫に引き続き取り組み、行事の見直しも継続的に行う。
3	教師の協力・連携	誰もが発言でき、協力し合える体制づくりに励み、子ども一人ひとりに寄り添った支援を、園全体で考えていく。

6 学校関係者評価委員会の評価

- ・取組状況から職員間の意思疎通が十分に行われており、園児たちと向き合っていることがよく理解できた。また、保護者との対応について、ホームページやライブ配信などを活用したり、アンケートなどで声を聴き、積極さが見えて、とても良い結果がうまれていると思う。今後の取組課題としての内容も、これからの保育に対して積極性が見えているので、園内で十分な協力体制で取り組んでほしい。
- ・自己評価もしっかりし、保護者からの評価も高く、よく努力している。敷いて課題を求めるとカトリック幼稚園という特色の基本となる宗教面への理解（研修も）が表面的に終わっているように感じた。“カトリック”という語は普遍的という意味であり、宗派・教派と関係なく、人の心を整え育てるものであり、学んで損はないだけでなく、より高い保護者の評価や未来の園児獲得にも連なり、考えてよいと思う。
- ・保護者からの声にもあるように、いつも丁寧な対応と保育へのきちんとした取組をしているのがわかる。また教職員間で日々の記録共有をとおして、互いの気づき合いが子どもだけでなく、先生の良いところをみることもできたことは良かったと思う。特別支援への継続は今後も研修を活かしてほしい。
- ・保育計画を作り、徹底して実施しているように思われる。そして教師の資質向上に努めているように思われる。保護者対応にも努めているように思われる。保護者アンケートのグラフに横軸の1～5が何なのか説明がほしい。